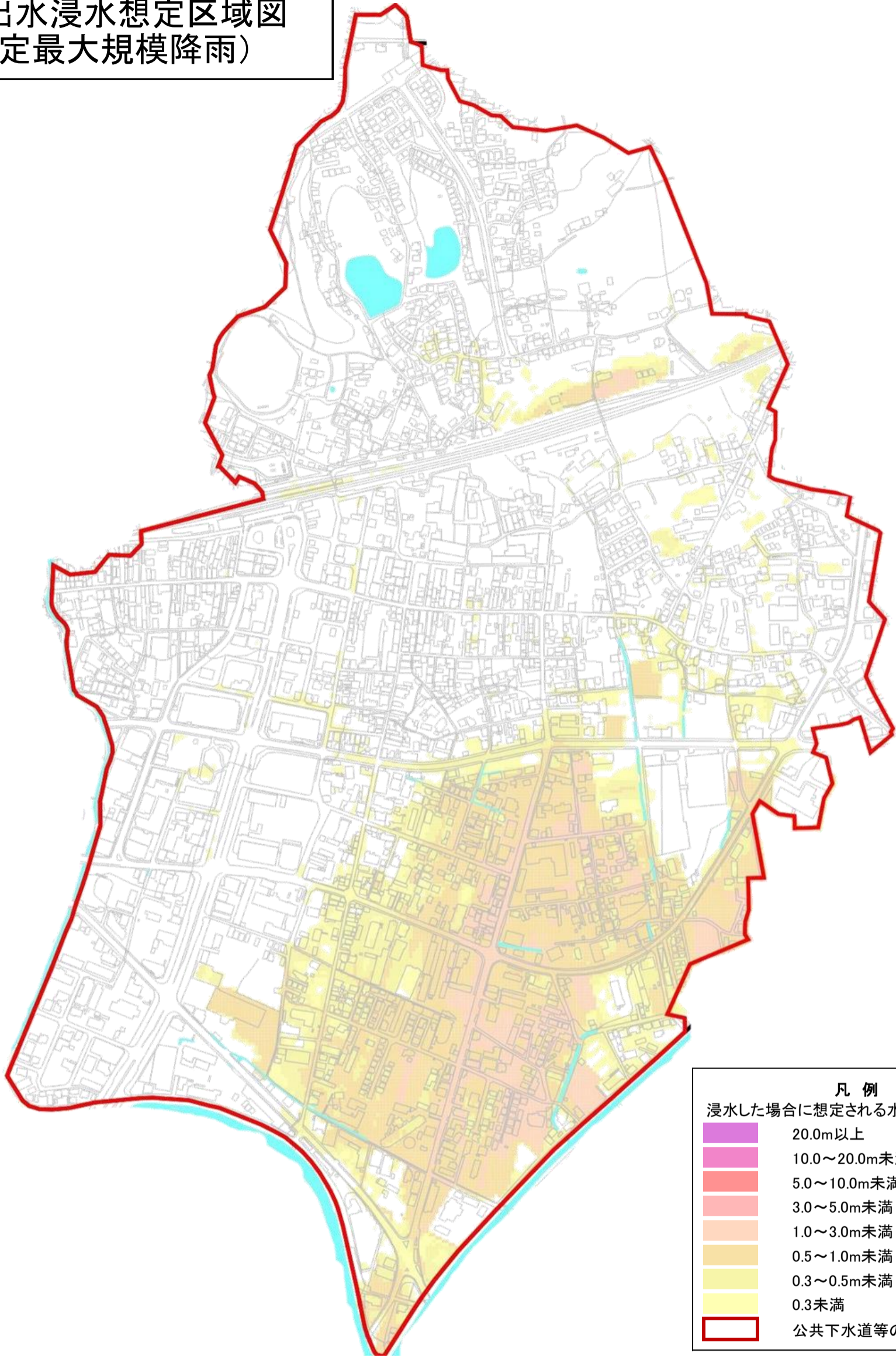


雨水出水浸水想定区域図 (想定最大規模降雨)



凡例	
浸水した場合に想定される水深(ランク別)	
	20.0m以上
	10.0~20.0m未満
	5.0~10.0m未満
	3.0~5.0m未満
	1.0~3.0m未満
	0.5~1.0m未満
	0.3~0.5m未満
	0.3未満
	公共下水道等の排水区域

1 説明文

- (1)この図は、令和7年3月末時点の東広島市(西条排水区)の下水道の整備状況等を勘案して、想定し得る最大規模の降雨(1時間最大雨量130mm)に伴う雨水出水により内水氾濫が発生した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより求めたものです。
この図で色がついていない場所は、計算上では浸水しない場所です。しかし、雨の降り方によってはこの図に示されていない場所でも浸水する可能性があり、浸水深も深くなる場合がありますので注意して下さい。
- (2)このシミュレーションの実施にあたっては、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、津波、高潮、洪水(河川の破堤または越水)による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際と異なる場合があります。
- (3)このシミュレーションは、想定最大規模降雨による浸水を想定するため、放流先の河川の水位を降雨に合わせ変動するように設定しています。
また、浸水リスクが最大となる条件として樋門ゲートが開放した状態にしています。
- (4)水害時において避難や水防活動を開始するタイミングは、お住いの状況等により異なることから、自らの判断で適切に行動して下さい。

2 基本事項等

- (1)作成主体:東広島市
- (2)指定年月日:令和8年3月23日
- (3)指定の根拠法令:水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項
- (4)指定の前提となる降雨:想定最大規模降雨(1時間最大雨量130mm)
- (5)浸水想定手法:浸水シミュレーション手法(降雨損失・表面流出・管内水理・氾濫解析を一連で実施)
- (6)境界条件:放流先河川の水位は降雨に合わせ変動し、樋門ゲートは開放している条件です。
- (7)その他計算条件等:対象区域を5m(25㎡)のメッシュに分割し、メッシュごとの浸水深を計算しています。
なお、外水位(河川)の影響が大きいことから、下水道と河川を統合的に解析できるモデルとしてシミュレーションしています。
- (8)浸水継続時間:雨水出水浸水想定区域図において、長時間にわたり浸水するおそれのある場合(浸水深50cm以上がおおむね24時間以上継続する場合)には浸水継続時間を表示する必要がありますが、本排水区においては、長時間にわたり浸水するおそれのある地区が存在しないため、浸水継続時間を表示していません。

